

原子力耐震・構造研究センター竣工記念 原子力耐震安全 市民公開講座

〈同時通訳〉

平成22年11月25日 木 新潟工科大学
13:30 ~ 15:30

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋 1719

入場無料
(事前申込が必要です)

新潟工科大学、東京電力(株)及び(独)原子力安全基盤機構は、中越沖地震で被災した経験を踏まえ、原子力安全に係る耐震・構造等の分野について最先端の研究を実施しています。この度、新潟工科大学キャンパス内に、「原子力耐震・構造研究センター」を設置しました。センターの竣工を記念し、「自然災害・世界の原子力発電所」についての市民公開講座を開催いたします。世界の一線級の専門家が市民の方々向けに分かりやすくお話しいたします。是非ともご参加いただければ幸いに存じます。

「世界の原子力発電と耐震」

アントニオ・ゴドイ氏
Antonio Godoy

前IAEA国際原子力機関 ISSC国際耐震センター長代行、
現IAEA顧問



概要

- 世界の原子力発電の利用状況、特に「原子カルネサンス」と呼ばれている現在の状況
- 中越沖地震発生後、三回柏崎を訪問し詳細な調査を行った経験を紹介
- 地震や津波に対する安全性確保のIAEAの考え方を紹介

「米国の原子力発電と耐震」

アニー・カマラー氏
Annie Kammerer

米国原子力規制委員会(米国NRC)
地盤・地震工学博士(カリフォルニア大、2002年)
プロフェッショナルエンジニア(カリフォルニア州)



概要

- 米国での新規原子力発電所建設の動向と耐震安全性評価に関する最新の知見
- 米国に於ける地震の発生メカニズムについて、「科学する心」を学ぶと言う視点から分かりやすく説明

「津波安全について」

アーメット・ヤルシナー氏
Ahmet Cevdet Yalciner

トルコ中東技術大学土木工学教授
同大学海洋工学研究センター長



概要

- 流体力学、海洋工学、海岸構造物評価の専門家として、津波とはどうして起こるのか原理を説明
- 世界の津波被害の記録を写真などを用いて説明
- 原子力発電所がどのように津波から防御されているか説明



バス運行経路

柏崎駅南口

新潟工科大学

※詳細は後ほどホームページにてご紹介いたします。



センターの外観パース図(右側の建物)

主催

